

第九十回帝國議會 衆議院 食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄(速記)第十六回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)
昭和二十一年九月二日(月曜日)午前十時三十五分開議

出席委員
委員長 成島 勇君
理事 岩本 信行君 理事 馬越 晃君
理事 須永 好君 理事 細野 三千雄君
大井直之助君 坂田 道太君
杉田 一郎君 淵田長一郎君
本多 花子君 苦米地義三君
保利 茂君 平野市太郎君
細田 綱吉君 北 政清君
米倉 龍也君 平野 八郎君
小坂善太郎君 野本 品吉君
高倉 輝君
出席國務大臣
農林大臣 和田 博雄君
出席政府委員
農林事務官 石川 準吉君

本日ノ會議ニ付シタ議案
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

○馬越委員長代理 只今ヨリ會議ヲ開キマス、委員長御差支ヘノ爲ニマダ御見エニナリマセヌカラ、私代リマシテ委員長ヲ致シマス、ソレデハ先日ニ引續キマシテ、米倉君ノ御質問ヲ御繼續願ヒマス、米倉君
○米倉委員 先日貴議案ノ今後ノ在リ方ニ付キマシテ御質問ヲ申上ゲタ所、大體私共ニテ居リマスコトト同シ御意見ヲ、指導精神ト申シマスルカ、一應審議、製絲ト云フモノガ對立ヲシ

ナイモノ、兩者ノ間ニ何等擧取關係ト云フヤウナモノノナイ機構ヲ以テ、今後ノ蠶絲業ト云フモノガ發達シテ行カナカレバナラカ、此ノ方針、斯ウ云フ指導方針ノ下ニ行政ヲ執ツテ行カレルト云フヤウナ御話デアリマシテ、其ノ點非常ニ私共懸念ノ者ト致シマシテ、満足ニ考ヘル所デアリマスルガ、サウ致シマシテ、サウ云フ協同組合組織ガ普及シテ參リマスルコト、其ノ協同組合組織ニハ、蠶絲業法ニ依ル組織ト、ソレカラ農林團體法ニ依ル組織ト、其ノ行キ方ハアリマスケレドモ、何レニ致シマシテモ、ソレ等ハ一定區域ヲ定メテ、此ノ區域ノ中ニ於テ組織デアリマスノデ、從來カラアリマシタ原料繭ノ地盤割當ト云フヤウナコトガ、今申シマシタ協同組合組織ガ普及シテ參リマス、大變困難ニナツテ來ヤシナイカ、結局繭ノ地盤割當ト云フ、從來ヤツテ參リマシタコトガ不可能ニナツテ來ヤセヌカ、斯ウ思フノデアリマス、サウナルト、再ビ茲デ製絲工場ノ整理或ハ企業整備ト云フヤウナコトガ必要ニナツテ來ヤセヌカト思フノデアリマス、現ニ既ニ協同組合組織區域内ニアル蠶絲家ノ製絲ト、協同組合製絲トノ間ニ、原料繭ノ地盤割當ノ矛盾ノ問題ガ生レテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトガ、協同組合組織ニ依ツテノ製絲ガ普及サレテ來レバ、一層激化シテ來ルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、製絲工場ノ整理ヲナサル必要ヲ御認メニナツテ居ルカ、大體地盤割當ト云フコトハ、農村ニ於テハ非常ニ非

難ヲサレテ居ルコトナノデアリマス、從來ハ統制會社ガ其ノ統制力ヲ以テ、何處ノ村ハ何々製絲ヘ繭ヲ出スンダト云フ風ニ決メテシマツテ、ソレニ對シテ色々異議ガアリマシテモ、何等其ノ異議ガ取上ゲラレナカッタノデアリマスをガ、今日デハヤハリ農村ノ人々ハ、何處ノ製絲ト云フヤウナ、製絲工場ノ選擇ヲスル氣持ニナツテ來テ居リマスノデ、其ノ氣持ヲ十分酌ンデ地盤割當ヲスルコトニシナト、色々後デ面倒ガ起ルノデアリマス、現ニ今年私共ノ方ノ縣ナドデモ、非常ニ多クノ問題ガ出テ參リマシテ、ソレノ調整ニハ縣初メ農林會方面デモ隨分困難ヲシタ調デアリマス、是ハ製絲工場ト製絲會社トガ協力ヲシテ行レバ、當然協力ヲシテヤルヤウニ御通達ニナツテ居リマスカラシテ、サウナルノデアリマスケレドモ、併シ從來カラノ仕來リガアリマスコト、ドウシテモ從來ノ例ヲ取ツテ地盤割當ヲ致スノデアリマス、是ハ今日ノ農村ノ人々ノ氣持ニシツクリ合ハナイ、合フヤウニスレバ或ル製絲ハ仕事ガ出來ナイコトニナル、サウ云フ點カラ更ニ製絲工場ノ整理——諸君原料繭ノ關係ト工場トノ關係ニ依ツテノ整理ガ必要ニナツテ來ルデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 今ハ御承知ノヤウニ、非常ニ生絲ノ方ノ工場ナカモ復舊ヲ急イデ居ツテ、「アメリカ」ノ需要ニ充テルヤウニヤツテ居ルノデアリマシテ、御話ノヤウナ點ハ將來ノ問題トシテ、又現實ノ問題トシテモ、ヤハリ農業者ノ方ト十分能ク話合ツテ、問題ヲ具體的ニ解決シテ行カユウニヤツテ戴キタイト思フノデアリマス、勿論是ヲ將來ノ日本ノ製絲業ノ建前カラ見マスレバ、會テアリマシタヤウナ脆弱ノ製絲工場ガ澤山濫立シテ、サウシテ實際上繭代金ノ不拂ニ終ツタリ、色々ノ問題ガ起ツタヤウナコトハ、我々トシテハ出來ルデケ避ケテ行キタイ、ヤハリ企業ノ基礎ト云フモノハ供繭ノ方カラ見テモ、繭絲ノ技術カラ見テモ、鞏固ナモノヲ作ツテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ル譯デアリマス

○米倉委員 勿論將來ノ問題デアリマスルガ、現ニ事實トシテハ協同組合組織ノ其ノ區域内ニ小サナ、又非常ニ設備ノ悪い製絲ガアル、サウシテ其ノ製絲ニ對シテ繭ノ割當ヲシナケレバナラナイ、協同組合ヘ持ツテ參リマスレバ、其ノ繭カラ立派ナA級或ハA・A以上ノ絲ガ生産サレバ、他ノ設備ノ悪い所ヘ持ツテ行ケバ、國用程度ノ生絲シカ引ケナイト云フ所ニマデ、今日地盤割當ニ依ツテ繭ヲ配當シテ行カナケレバナラナイト云フ實情ニアルハ、デアリマス、サウ云フヤウナコトハ、此ノ際非常ニ矛盾アル、良イ絲ヲ澤山早く「アメリカ」ヘ出スト云フコトカラ申シマスレバ大キナ矛盾ニナル、ソレハヤハリ繭ノ地盤割當ト云フヤウナコトカラ來ル矛盾ト思フノデアリマス、斯ウ云フ實際問題ヲ御考慮ツテ、今後ノ御指導ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、製絲業ノコトニ付キマシテハソレダケ御尋ネ致シマスレバ宜シウゴザイマス
(馬越委員長代理退席、委員長著席)
ソレカラ農機具ノコトニ付キマシテモ、先般農林大臣ハ、今後農機具ノ生産ニ關シテ萬全ノ施策ヲ講ジルト云フコトノ御答辯ガアリマシタノデ、非常ニ我々ハソレニ期待ヲスルモノデアリマスガ、現在ノ農機具ノヤリ方、諸君農機具工業統制組合ト云フ、アノ組合ノヤリ方デハ、本當ニ我々ノ要求スル農機具ノ圓滑ナ生産ト配給ハ難カシイト云フ風ニ、私共ハ感シテ居ルノデアリマス、農機具ノ生産配給ニ付キマシテハ色々面割ガアリマスガ、ヤハリ是モ一貫シテ、農林省ノ專管デアリナナルコトノ方ガ、何カト都合ガ好イノデヤナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ御老ヘト、ソレカラ農機具ノ生産ニハ、鐵鋼ナリ「コークス」ナリ、或ハ木材ナリガドウシテモ必要ナノデアリマス、肥料生産ニ對シテ斯ウ云フ鐵鋼、「コークス」ナドガ優先的ニ考ヘラレルト同ジヤウニ、今後十分鐵鋼「コークス」木材等ヲ優先的ニ配給スルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイ、是モ農機具ニ對スル今後ノ對策ノ一ツデハナイカト思フノデアリマス、ソレカラ農機具ニ對シテノ農村資本ノ投下デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、中金ハ農機具工業統制組合ト云フモノニハ今日融通ヲシテ居ナイノデアリマス、參考資料ノ中ニハ、農機具統制株式會社今日融通シテアルモノ

ナラバ、此ノ條項ノ改正ハソレ程效果
ガアルモノデナイト思フノデス、用途
ヲ指定シナイデ、長期貸付ノ總金額ノ
制限ヲ撤廢スル、ソレハ結局今後農地
開發ト云フヤウナコト以外ニ、農村工
業等ノ新シイ農村建設ノ爲ニ、大キ
ナ資金ガ要ル方面ガ非常ニアルト思
フ、斯ウ云フ方面ニ中金ガ長期ノ金ガ
貸シ得ラレルヤウニ、自由ニヤレルヤ
ウニシテ置イタ方ガ宜イシ、又寧ロサ
ウ云フヤウナ資金ハ、此ノ際中金ノ出
資金ヲ増加スル——自己資金ノ長期貸
付ノ餘裕ヲ持タセルニハ、中金ノ出資
金ヲ増加スルト云フ方法ヲ執ル方ガ妥
當デハナイカト思フ、是ハ唯意見デア
リマス

ソレカラ五箇年以内ノ定期償還貸付
ト云フコトヲ決メテアリマスルガ、是
ハ單ニ定期償還貸付ノ方ガ宜イト思
フ、定期貸付ト云フ表現ヲ用ヒマシテ
モ、是ハ自ラ年賦貸付以外ノ比較的短
期、中期ノ貸付ト云フコトニ相成ル譯
デアリマス、若シサウデナクテ、之ヲ
此ノ儘ニシテ置イテ、十五條ノ方ノ、
出資者デナイ法人ニ對スル貸付ニ十箇
年以内ト云フヤウナ長イモノヲ認メル
コトハ、是ハ妥當デハナイト思ハレマ
ス、又法人ニ對シテ年賦貸付ヲスルノ
デアリマスガ、是ノ金額等ニ於テハ限
度ガアルノデアリマス、ソレカラ此
ノ定期償還貸付ヲ法人ト云フモノハ、
大體今日ドウ云フモノヲ豫想シテオイ
デマス、尙ホ所屬團體ニ對スル貸出
ニハ、擔保ヲ徵シテ長イモノヲヤルト
云フコトモアリマス、今度ノ法人
ニ貸付ケル方ニハ、其ノ擔保ノコトニ
付テハ何等觸レテ居リマセムガ、ソレ
ハドシテ風ヲ關係デアリマス、此ノ
點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○石川政府委員 此ノ定期貸付ノ五年
ト云フ制限ノ金ニ付キマシテハ、我々
ノ方トシマシテモ、全體ノ經濟狀況カ
ラ致シマシテ十分考慮致シタイト思
テ居リマス、現在ノ所デハ五年以内
トナツテ居リマス、併シナガラ特殊ナ
場合ニ於キマシテハ、其ノ例外規定ガ
置イテアルノデアリマス、例ヘバ中央
金庫法ニ於キマシテモ、十四條ノ二號
ヲ御覽下サイマス、特殊ノ場合ニ於
キマシテハ更ニ其ノ期間ガ延長サレル
コトニナツテ居リマス

ソレカラ法人ニ對スル最高限ニ付キ
マシテハ、一定ノ限度ヲ置キタイ、斯
様ニ考ヘテ居リマス、尙ホ擔保ノ問題
デアリマスガ、是ハ必要ガアレバ法人
ニ對スル場合ニ於キマシテモ擔保ヲ徵
スル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマ
ス、ソレカラ法人ノ例ト致シマシテ
ハ、開發營團或ハ肥料會社、サウ云フ
ヤウナ兎モ角農林水産業ニ最も密接ナ
經濟的關係ノアル法人ニ貸付ケタイ、
斯ウ考ヘテ居リマス

○米倉委員 此ノ貸付先ニハ、貸付ケ
ルダケデ、預金ノ取引ト云フコトハ御
認メニナラヌノデアリマス、預金ノ
取引ハ當然ナシ得ルト認メレバ、明示
シタ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマ
ス、是ハ貸付ケタ人ノ取引ニ付テハ、
預金取引ト云フコトガ自ラ起ツテ來ル
コトダラウト思ヒマス、此ノ點ヲ伺
ヒマス

○石川政府委員 現在ニ於キマシテ
モ、貸付ケタ範圍内ニ於キマシテ預金
ノ受入ヲヤツテ居リマス

○米倉委員 マダ中金ノ規定ニ市街地
信用組合ガ加入シテアル、是ハ何カ理由
ガアツテズツト加入サレテ居ルノデア
リマス、ソレカラ中金ノ仕事ノ中デ

爲替業務ガアリマスガ、是ハ大體事ノ
性質上所屬團體ノミニ認メテ居ルガ、
ソレハ妥當デナイ、取引法人ニモ御認
メニナルノガ宜イノデハナイカト思
ヒマス、此ノ點ノ御意見モ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○石川政府委員 市街地信用組合ノ名
ヲ存シテ居リマス理由ニ付キマシテ
ハ、ヤハリ若干ノ取引ガマダ殘ツテ居
ルト云フ見地カラ存置シテ居ルノデア
リマス、又爲替業務ニ付キマシテ、所
屬團體以外ノ法人ニ對スル件ニ付キマ
シテハ研究致シテ居リマス

○米倉委員 大體私ハ、此ノ改正ノ條
項ニ關聯シテ御伺ヒタイト思フコト
ハ濟ミマシタガ、最後ニ今一度農林大
臣ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、今度
此ノ改正ハ、現在ノ金融事情、ソレカ
ラ我が國ノ戰後産業ノ急速ナ發展ヲ圖
ラナケレバナライ爲ニ、農林中央金
庫ノ金融力ヲ此ノ際極端ノ活用スル
ト云フコトノ意味カラ云ヒマシテ、適
當ナ措置トハ存ズルノデアリマスルケ
レドモ、今日色々農林中央金庫ニ對ス
ル兎角ノ批判——今回ノ改正方何等民
主化ノ點ニ觸レテ居ナイト云フコトデ
アツテ、此ノ點非常ニ物足りナイト云
フ所カラ、色々批判ガ出テ來テ居ルヤ
ウデアリマス、併シ當局デハ、追ツテ
農林中央金庫法ノ全面ノ改正ヲ考ヘ
テ居ルノダト云フ御言明デアリマス
デ、ソレニ期待ヲ持ツ譯デアリマス
ガ、其ノ改正ハ何處デモ中金ノ民主
化ト云フコトヲ中軸ニシテ、ヤツテ行
カナケレバナライト思ヒマス、其ノ
爲ニ政府ノ出資ハ今更中金ニ殘ス必要
ハドウシテモナイ、歴史的ニハ、産業
組合中央金庫ヲ創立スル當時、所屬團
體ガ弱イノデ、ソレヲ援助スル爲ニ、

此ノ金庫ノ發達ヲ基礎付ケル爲ニ必要
デアツタト思ヒマス、今日ノ
場合ハ實際其ノ必要ハナイ、御當局デ
ハ、ソレヲ所屬團體ニ移譲スルト云フ
ヤウナコトニ付テハ考慮ハシテ居ラナ
イヤウデアリマス、民主化ヲ
圖ル爲ニ第一ニ執ル措置ハ、私ハドウ
シテモ政府出資ヲ先ツ以テ所屬團體ヘ
移ス、サウ云フコトニ依ツテノ中金
ノ民主化ガ一步踏ミ出スノデ、役員ノ
政府任命ト云フヤウナコトモソカラ
出テ來テ居ルト思フノデアリマス、ソ
レデアラカラ、民主化ニ最も大事ナ役
員ノ問題、政府任命ト云フヤウナコト
ハ反民主的ナ最タルモノデアリマス、
ソコヲ衝カナケレバナライト思フ
ノ際民間ニドウシテモ移譲シテ行カ
ナイト思フノデアリマスガ、尙ホ役員
ノ政府任命ト云フヤウナコトガ非常ニ
非難ノ的ニナツテ居リマス、殊ニ先日
モ理事長ニ付キマシテ高倉サカラ色
色御話ガアリマシタガ、此ノ際役員ノ
問題ニ付テハ、當局トシテハ英斷ヲ持
ツテ處置シナケレバナライノデハナ
イカト思フノデアリマス、斯ウ云フ點
ガ政府出資ト云フコトノ因カラ出テ來
ルヤウニ考ヘラレル、此ノ點モウ一度
大臣ノ御考ヘヲ伺ヒマス

○和田國務大臣 中央金庫ノ民主化ノ
問題ト、ソレカラ農林中央金庫制度其
ノモノノ根本ノ改正ノ問題デアリマ
ス、是ハ私ハ御意見ノヤウナ線ニ沿
ヒマシテ、根本ノ改革ハ是非ヤラナ
ケレバナラヌト思ヒマス、勿論此ノ中
央金庫ト云フモノハ、謂ハバ農村金融
ノ中樞ノ機關デアリマス、農村金
融一般ノ問題トシテモ、又他ノ日本ノ
金融制度其ノモノトノ關係カラモ、十

分考慮スベキ種々ノ問題ガアルト思
ヒマス、御話ノヤウニ、民主化
ト云フ方向ニ向ツテ根本ノ改正ヲヤ
ルト云フ御意見ニハ、私モ同感デアリ
マス、是非サウ云フ風ニ進ンデ行キ
タイ、斯ウ存ジテ居リマス

○米倉委員 今ノ政府出資ノ點ハ、ヤ
ハリ現在ノ所デハ政府ガオチニナツテ
行クト云フ御考ヘデアリマス

○和田國務大臣 私ハ是ハ農村ニ於テ
相當農村ノ力ガ出來、又協同組合ト云
フモノヲ基礎ニシテ中央金庫ト云フモ
ノガ出來ルベキ筋合ノモノト思ツテ居
リマス、政府出資ト云フモノハヤ
ハリナイ方ガ宜イト思ヒマス、政府出
資ト云フモノハ、中央金庫ノ性質カラ
書ヘバ、是ハ將來ハ寧ロ省ケベキモノ
ダト、斯ウ考ヘテ居リマス、唯歴史的
ナ事情デ、御話ノヤウニ政府ガ出資マ
テ、ソレデ其ノ當時ノ農村ノ實情カラ
言ツテ、斯ウ云フ中金ヲ作ツテ來タ
云フ歴史的ナ事情ハアリマスガ、農村
ニ於ケル一ツノ力、農民ガサウ云フ風
ナ力ヲ持ツテ來マシタ時期ニ於テハ、
協同組合其ノモノガ相當程度ニ發達シ
マシタ時期ニ於テハ、政府出資ト云フ
モノハナクテモ宜イノデハナイカト、
斯ウ私ハ考ヘテ居リマス

○米倉委員 此ノ御伺ヒシタイト思フ
コトハ以上デ濟ミマシタ、質問ヲ打切
リマス

○苦米地(義)委員 我先般質問致シ
タ時ニ、大臣ガ居ラレマセヌデシタ
ノデ、唯一點ダケ殘シテアリマシタ
カ、此ノ機會ニ御伺ヒシタイト思ヒマ
ス、ソレハ第十五條ノ餘裕金ノ運用ノ
コトデアリマス、今回設ケラレタ十五
條ノ二ト云フノハ、餘裕金ノ運營業ヲ積
極的ニ擴大シヨウト云フ條項デアリマ

スノデ、其ノ點ニ對シマシテハ、價更ナル檢討ヲ加ヘテシナケレバナラヌ必
要ガアルデアラウカラ、審議ノ機關ヲ
附屬シテ設ケテハドウカト云フコトヲ
話シマシタ所、ソレハ適當ナ諸機關
デモ設ケタイト云フ御答辯ガアリマシ
タ、所ガ何處マデモ資金ノ運用ハ融通
ト云フ方面デナケレバナラヌト思フ
デアリマスガ、サウデナクテ、企業ニ
對スル投資ヲモナサル御見込デアリマ
セウカ、同じ有價證券ヲ持ツト言ヒマ
シテモ、金融ノ融通ノ方面カラサウ云
フ利権ノアル證券ヲ持ツト云フコト
モ、一ツノ有價證券ノ保有デアリマス
ガ、サウデナクテ、企業投資ト云フ立
場カラシマス有價證券ノ保有ト、二様
アルト思フ、將來ノ運営ハ飽クマデモ
融通方面デ立ツテ行キマセウカ、都合
ニ依ツタラ企業投資マデモヤラウト云
フ御答ヘデアリマセウカ、其ノ方針ヲ
御伺ヒシマス

○和田國務大臣 ソレハ融通デアリ
マス

○苦米地(義)委員 サウ致シマス、
日本肥料ノ株ヲ持ツテ、是カラ肥料ノ
企業ニ乗出スト云フコトハ、是ハ明カ
ニ企業投資デアルカノヤウニ私ハ思
フ、企業投資ニナリマス、相當ノ
「リスク」ヲ含ムコトニナリマス、隨テ
此ノ有價證券ハ、當分ノ間配當ガ得ラ
レナイカモ知レナイ、組合員ノ資金ヲ
運用スルニ付テ、左様ナ投資方面ニ資
金ヲ投ズルコトハ果シテドウデアアル
カ、現ニ其ノ實例ガ日本肥料ノ投資ニ
依ツテアルト思フ、此ノ點ニ對スル御
見解ヲ伺ヒタイ

ノハ、アナタノ御質問ニ對シテ融通ヲ
本旨トスル、斯ウ云フコトヲ言ツタ譯
デアリマス

○苦米地(義)委員 私ノ懸念スルノハ
其ノ投資ノ問題ナンデス、是ハ相當ノ
「リスク」ヲ見ナケレバナラヌト思フ、
貴重ナル組合員ノ資金ヲ、サウ云フ危
險ナル投資ノ方ヘ向ケルト云フコト
ハ、組合ノ性格カラシテ私ハドウカト
思フ、若シサウ云フコトカ範圍ヲ擴大
シマス、幾林中央金庫ノ運営ト云フ
モノガ、非常ニ危殆ニ類スルデヤナイ
カト思フノデアリマシテ、ソレニヤル
ト云フ御方針デアレバ、特ニ慎重ヲ
加ヘル機關ヲ設ケル必要ガアルト思
フ、或ベクナラバ融通ノ範圍ニ止メテ
置クベキデヤナイカト私ハ思フ、其ノ
點ニ對シテ、企業ノ方モヤル方針デア
ルト云フ御答辯デアレバ已ムヲ得ナイ
ノデアリマスケレドモ、併シソレニ對
シテハ非常ニ慎重ナ態度ヲ御執リモナ
ルコトヲ希望致シテ置キマス、其ノ點
ダケヲ私ハ御伺ヒシタイト思ツタノデ
アリマス

○和田國務大臣 御話ノヤウニ、今度
ノ餘裕金ノ運営ヲ擴張致シマシタ趣旨
ハ、是ハ融通ヲ主ニシテ居ルノデアリ
マシテ、投資ヲ致シマセヌ、從來餘裕
金ノ運営デ投資ヲ致シテ居リマスノ
モ、是ハ、國債證券デアルトカ、地方
債證券デアルトカ、其ノ他ノモノハ主
務大臣ガ認可ヲ與ヘルコトニナツテ居
リマシテ、非常ニ消極的ナ態度ヲ執ツ
テ居ルノデアリマスカラ、其ノ御心配
ハ今後共ナイヤウニ考ヘテ居リマス

○成島委員長 細田君

○細田(綱)委員 前ニ御質問申上ゲタ
ケレドモ、更ニ一點ダケ補充サシテ戴
キマス、農林省カラ地方長官ニ對シテ

御指示ニナツテ居ル米、麥、馬鈴薯、
甘藷等ノ供出ニ對スル具體的ナ内容
ヲ、一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス、
實ハ例ヘテ申シマス、茨城縣ノ早場
米ノ本場デアアル稻敷地方ノ生産状況デ
スガ、天候ノ生合ガ非常ニ良クテ、稻
ノ育チカラ見テ、誰デモ今年ハ相當ノ
豐作ダト老ノデデアリマス、所ガ、御
承知ノヤウニ稻敷地方ハ既ニ全部刈取
ツテ俵ニ詰メツ、アルノデアリマス
ガ、之ヲ採リ上ゲテ見マス、非常ニ
小粒デ、私ナドモ其ノ當時ハ、段當リ
五俵半カラ六俵平均ニ行クト思フテ居
リタ所ガ、實際行ツテ、見タリ開イタ
リシテ見マス、意外ニ減收ニナツテ
居ル、ヤハリ天候ダケハ肥料不足ハ
補ヘナイト云フコトヲ如實ニ物語ツテ
居リマス、大體ニ於テ四俵乃至四俵半
ト云フノガ普通デハナイデセウカ、五
俵ト云フ所ハ非常ニ少イ、之ニ對シテ
縣ノ供出ハ三俵半ノ程度ニ來テ居リマ
ス、新米ノ供出ニ對シテ地方長官ニド
ウ云フ風ニ具體的ニ御指示ニナツテ居
ルノカ、伺ツテ置キタイノデアリマ
ス、尙ホ、是トハ對蹠的ナ一ツノ問題
デアリマスガ、馬鈴薯ノ供出ハ極メテ
緩慢ダツタノデスガ、是ハモット供出
サセテ宜イノデハナイデセウカ、又農
民自身モモット供出ノ命令ガアルモノ
ト思ツテ居ツタガ、意外ニ緩慢デアツ
タト思ヒマス、勿論馬鈴薯ハ保存ニハ
便利デアリマスガ、併シ又保存スルニ
相當ノ手數ガ掛ルノデアリマス、斯ウ
云フコトヲ申上ゲテハドウカト思フ
ガ、或ル地方デハ、是ハジャガデナ
クテ邪魔芋ダ、供出ガ少ナカツタノ
デ意外ニ考ヘタノデセウ、ヤリ場ニ困
ツテ邪魔芋ト言ハレル程、嬉シイ悲鳴
デハアリスガ、シカク緩慢デアツタヤ

ウデス、之ニ反シテ今度ハ早場米ノ供
出ハ、收穫量ニ對シテ極メテ前歲デア
リマス、農林省ノ地方長官ニ對スル御
指示ノ具體的内容ヲ伺ツテ置キマス

○和田國務大臣 何レ食糧ノ長官ガ來
マスカラ、御答辯致シマス

○細田(綱)委員 ソレカラ今一階伺ヒ
マス、供出完了者ニ對スル餘剩米、其
ノ他馬鈴薯、甘藷等ノ殘置量ニ對シテ
ハ、ドウ云フ風ナ御處置ヲ執ラレテ居
ルカ、私共新聞紙ヲ通ジテノ知識デス
ガ、ソレハ農業者ノ證明ニ依ツテ自由
ニ搬出スルト云フ風ニ紙上ヲ通ジテ見
テ居リマスガ、併シ實際問題トシテ
ハ、可ナリ此ノ證明ガ困難ナ實情ニア
リマスルノデ、此ノ點モ一ツ併セテ御
伺ヒシテ置キマス

○和田國務大臣 ドウデスカ、其ノ間
斷ハ一ツ後デ長官トデモ話シテ戴イ
タラ

○細田(綱)委員 宜シウガザイマス、
大臣カラ傳ヘテ置イテ戴キタイト思ヒ
マス

○和田國務大臣 其ノヤウニ取計ヒ
マス

○成島委員長 是デ質疑ハ打切りマ
ス、明後四日午前十時ヨリ開會シテ、討
論採決致シタイト思ヒマス、本日ハ是
デ散會致シマス

午前十一時二十九分散會